

**議員** 全国各地でTPPへの参加反対の声が広がっているが、こうした情勢を受け、市長の考えをたずねる。

**市長** 今年6月をめどに交渉参加について結論を出すと首相が言わっている。この問題は大きなテーマだが、いま一つ議論は深まっていないと感じている。その理由としては、情報不足が上げられる。政府は参加の是非をめぐる議論の土台となる具体的な政策など、判断材料を早急に国民に示して、そして国民的な議論を踏まえて判断をすべきではないかと考えている。

本市にとって最適な政策を練り上げていきたいと考えている。

## 仁科文秀議員

### 政策提案型市政の推進について

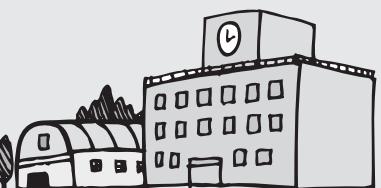
**議員** 自治体の力をつけるために、職員が市民や企業・団体などと連携し、地域社会にとつて最適な政策をつくり上げることが求められている。さらに、行政は地域社会全体の人材育成を推進すべきだという考え方もある。これをどう理解し、推進するかたずねる。

**市長** 地域の活性化を大きく左右する要素である人材力の強化は大変重要である。人材育成を目的とした研修会や講座の企画とともに相談機能を充実させ、地域の人才力の強化を図っていく。さらに、団体の育成や団体相互の連携強化により、地域全体の人材力の強化を図る。こうした人材や団体・企業等と行政とが協働して

教育長 ①平成21年度から大島中学校、大島小学校、大島地区で実施されている。大島東小学校の3校を中心と/or>に学校・家庭・地域が一体どもを育てる体制づくりを行い、学校の支援ニーズに応じて地域の方々がボランティア活動を実施している。成果としては、子どもたちのコミュニケーション能力の向上、ボランティアの方の生きがいづくりにつながり、地域の連帯感や教育力の向上に貢献していると思っている。市内に広げていきたいと考えている。

②近年、多様化している学校に対する地域住民や保護者等のニーズを的確に把握して学校運営に反映させることや、地域人材等の活用により、特色ある学校づくりを上げ、地域の創意工夫を生かした特色ある学校づくりを進める制度である。平成23年度から西中学校と東中学校で始めたいとのことだが、教育長の考えをたずねる。

①平成21年度から大島中学校と西中学校を、学校運営協議会を設置する学校として指定したいと考えている。



大島東小学校の3校を中心と/or>に学校・家庭・地域が一体どもを育てる体制づくりを行い、学校の支援ニーズに行い、学校の支援ニーズに応じて地域の方々がボランティア活動を実施している。

**議員** 想とのタイアップについて

**議員** ①広島県の海の道プロジェクトによる構想が3月末にもまとまるとしている。広島県側による岡山県当局への協力方の打診では、積極的な意向であつたとのことだが、市としてそういう情報を把握しているのか。

②香川県側を中心に開催された瀬戸内芸術祭の成功を受け、3年後には国際的イベントが開催されると聞いている。広島県の海の道構想ではこれらを視野に入れたりを一層推進していく。

そのため、校長と地域住民・保護者等が協働して学級づくりを行う学校運営協議会のような仕組みが必要

であると考えている。そこで、平成23年度から東中学と西中学校を、学校運営協議会を設置する学校として指定したいと考えている。

②瀬戸内海の道構想」の素案を岡山県に提出し、岡山県は今後協力体制を強化し、